



県政レポート

トマト通信

愛媛県議会議員

本宮いさむ

連絡先

〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6
TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693

no. **118**

発行
令和4年7月20日

地域経済活性化では、国が総合緊急対策を決定した4月26日以降に市町が予算措置した商品券発行やキャッシュレス決済ポイント上乗せなどの補助に20億円。県内に営業所がある鉄道やバス、旅客船

5月31日、県は6月補正予算案を発表。新型コロナウイルス感染症対策に60億657万円、原油価格・物価高騰への緊急対策に25億1460万円、防災・減災対策の推進に63億7260万円、DXの推進など重要課題への対応に29億1291万円が盛り込まれています。

新型コロナウイルス対策では、重点医療機関の感染症患者の受け入れ病床の追加確保に20億4171万円。コロナ禍で孤独や孤立感を抱える県民に対する相談窓口の設置や支援体制の整備には5232万円が充てられます。

観光業では、県内を巡るバスツアーなどを催す旅行会社を対象に、1回あたり15万円を上限に経費の2分の1を補助。旅行会社などが企画したタクシーツアーには、1回あたり1万5千円を上限に利用料金の2分の1を負担します。

事業者やトラック事業者は10億56万円が計上されています。DX推進では、マイナンバーカード取得と利用促進を図るために独自の県版マイナンバー事業を9億6911万円で開催。国が付与するポイントに最大4千円が上乗せされることとなります。

高騰する燃料費の対応では、県内に本社や営業所を有する公共交通事業者や運輸事業者、農林水産業に対して緊急的な支援金を支給します。

漁業では燃料コストの低減に向け、燃油消費量が少ない漁船エンジンの導入経費の2分の1が補助される国の制度に、県が6分の1を上乗せして補助します。

農業では、「地域農業再生協議会」などが取り組む農地の団地化や先進的営農技術の導入、生産拡大の推進に対する補助、畜産飼料の価格高騰に対する自給飼料の生産拡大、輸入原料が多くを占める配合飼料の使用低減などを支援。機械導入などのほかに、餌の品質向上にかかる経費の2分の1を補助します。

たり自転車積載装置を整備する事業者らへの経費の2分の1の補助や、サイクリングツアーを催す旅行会社などに日帰り20万円、1泊2日以上40万円を上限に経費の2分の1を補助します。

コロナ・原油・物価高対策に約178億円

愛媛県 令和4年度6月補正予算

総額 178億2,001万円

1. 新型コロナ感染対策と取組みの強化 60億657万円

「守り」の感染対策を徹底した上で、「攻め」の当面の需要喚起と社会経済活動の本格的再開への備え

- ① 重点医療機関における感染症患者の受入病床の追加確保 20億4,171万円
- ② 救急医療機関等における院内感染対策強化に必要な設備整備等への支援 3億5,000万円
- ③ 県立高等学校及び特別支援学校の寄宿舎の感染防止対策 4億3,184万円
- ④ 市町との連携による地域の実情に応じた消費喚起策の展開 20億円
- ⑤ 中小企業の新しいビジネスモデル展開への支援 6億5,376万円
- ⑥ ツアー造成への支援など県内周遊手段の拡充による地域間競争力の強化 2億2,900万円
- ⑦ サイクリング観光の需要喚起に向けた新たなサービスの導入支援 2,722万円
- ⑧ 国内線需要の早期回復や路線維持に向けた利用者の安定確保への支援 1,500万円
- ⑨ 松山空港の利用促進に向けたデジタルクーポン券の発行や衛生環境整備への支援 463万円
- ⑩ 海外代表チームの事前合宿受入れによるスポーツを通じた国際交流の促進 1,461万円

2. 原油価格・物価高騰等への緊急対策 25億1,460万円

国の総合緊急対策も踏まえた原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活者や事業者の下支え

(1) 生活困窮者など生活者への支援 4億4,890万円

- ① 子育て世帯（ひとり親世帯）への生活支援のための国給付金の支給 8,742万円
- ② 生活維持に向けた貸付制度の国による期限の延長 1億9,923万円
- ③ 国による期限の延長を受けた生活保護に準じる水準の困窮世帯への支援金の支給 414万円
- ④ コロナ禍で孤独・孤立感を抱える県民に対する相談窓口の設置や支援体制の整備 5,232万円
- ⑤ 経済的に困窮する不登校児童生徒への教育機会の確保に向けた支援 580万円
- ⑥ 女性の安定的な雇用に向けた受入環境整備や人材マッチング支援 7,950万円
- ⑦ 障がい特性に応じた受入環境整備や就労支援研修による障がい者雇用の創出 2,050万円

(2) 生産者・事業者への緊急支援と中長期的影響も見据えた競争力の向上 18億3,324万円

- ① 6次産業化に取り組む農林漁業者のコスト低減等のための工程の内製化への支援 2,400万円
- ② 施設園芸農家等による省エネルギー化に向けた機器設備等の導入支援 9,000万円
- ③ 小麦等の生産拡大や作付けの団地化の推進等への支援 3,260万円
- ④ 自給飼料の生産拡大等の畜産農家の飼料コスト低減に向けた取組みへの支援 5,100万円
- ⑤ 林業・木材製造業者による生産性向上に向けた林業機械設備等の導入支援 5,000万円
- ⑥ 魚類養殖業者が行う次世代型スマート給餌機導入に対する支援 1,650万円
- ⑦ 燃油消費量が少ない漁船の推進機関等の導入や船底清掃施設の整備に対する支援 2,700万円
- ⑧ かんきつの消費拡大のため航空便を利用する観光客等へのかんきつ飲料の提供 2,569万円
- ⑨ 県産畜産物の県内消費拡大のための情報発信やキャンペーン等の実施 2,000万円
- ⑩ 県産水産物の消費拡大や知名度向上に向けたプロモーションの展開 3,990万円
- ⑪ 燃油高騰の影響を受けやすい公共交通事業者とトラック事業者への緊急支援 10億556万円
- ⑫ 中小企業者等の省エネ機器や高効率設備の更新導入への支援 4億3,200万円
- ⑬ 県内飲食店等でのプラスチック代替製品の利用促進 1,000万円
- ⑭ 省エネ推進に向けた普及啓発のため公用車のカーシェアリングの実証 900万円

3. 防災・減災対策の推進 63億7,260万円

国内示を受けて、山地の防災対策や道路改築、海岸・港湾施設の整備、都市公園施設の長寿命化など防災・減災対策等を追加実施。

- ① 土地改良費 6,951万円
- ② 国営南予土地改良事業負担金 特別会計 1,333万円
- ③ 造林費 2億9,079万円
- ④ 治山費 4億1,097万円
- ⑤ 道路橋りょう新設改良費 17億2,310万円
- ⑥ 海岸保全費 4億1,163万円
- ⑦ 砂防費 12億5,942万円
- ⑧ 港湾建設費 19億1,759万円
- ⑨ 港湾事業補助金 2,817万円
- ⑩ 松山港湾役機械整備事業費 債務負担行為 9,000万円
- ⑪ 街路事業費 1億5,530万円
- ⑫ 総合運動公園施設整備費 1,684万円
- ⑬ 南予レクリエーション都市公園施設整備費 7,595万円

4. DXの更なる推進など重要課題への対応強化 29億1,291万円

デジタル技術の社会実装の加速化やデジタル社会形成に向けた基盤整備

(1) DXの更なる推進 26億7,266万円

- ① 県内産業の稼ぐ力を強化するデジタル技術の実装に向けたモデル事業の追加実施 5億4,735万円
- ② 県・市町及び事業者が利用可能な標準化されたデータ連携基盤の構築 10億1,533万円
- ③ DX関連企業との連携・協働するための官民共創拠点の先行モデルの整備・運営 9,465万円
- ④ マイナンバーカードの取得・利用促進のための県独自ポイントの付与 9億6,911万円
- ⑤ CBTシステムの最適化利活用に向けた教員のICTスキルの向上 500万円
- ⑥ 特別支援学校のタブレット端末の追加配備 4,122万円

(2) その他 1億560万円

- ① 海洋ごみ削減に向けた漂着エリアの実態調査と漂着ごみ回収の実証 1億円
- ② 国の普通科改革に伴う県立学校への「地域社会学科」設置の推進 560万円



コロナ対策



燃料高騰



物価高騰

補正予算 178億円

地域経済活性化



DX推進



観光業



農林水産業

本宮勇の活動記録 (2022年3月～7月)

3月20日



「岩城橋」の開通式典・開通式

上島架橋は、上島町の生活基盤強化や産業の活性化のため、岩城島、生名島、佐島を経由し弓削島を3つの長大橋で結ぶ事業です。本日「岩城橋」が完成し、ゆめしま海道として全線が開通しました。

4月20日



四国新幹線整備促進期成会

私が期成会の監事を務めている関係で令和3年度の会計監査を行いました。県議会議事堂会議室にて2021年度事業報告・収支報告について監査を行い、適切に対応されていることを確認しました。

5月29日

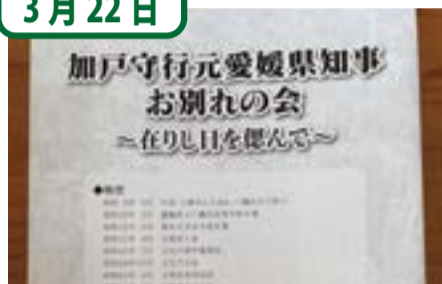


全国拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会

東京都千代田区にあるシェーンバッハ・サボア（砂防会館）で開かれた国民大集会に古川副議長と一緒に参加しました。横田めぐみさんのお母様の横田早紀江さんや岸田総理、松野官房長官・拉致問題担当大臣、各党、各自治体の拉致問題代表も出席し、桜井よしこさんの司会で開催されました。一日でも早い解決を願う決議を全会一致で採択しました。小泉純一郎元内閣総理大臣が、北朝鮮で金正日委員長（当時）と、『日朝平壤宣言』を締結してから、9月で20年になります。未だ進展のない拉致問題です。



3月22日



加戸守行元県知事お別れの会

お別れの会（～在りし日を偲んで～）が県民文化会館で執り行われました。平成11年の加戸知事就任がきっかけで、私は県議になりました。また、岡山理科大学獣医学部誘致が問題化されたとき、加戸元知事は敢然と立ち向かってくれました。「あの騒ぎは何だったのか」いまでも不思議でなりません。

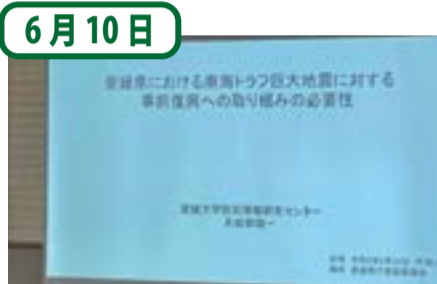
5月13日



今治・小松自動車道

建設促進期成同盟会総会が3年ぶりに開催され、出席しました。この路線は、地域住民の利便性の向上、地域間交流の活性化、広域経済圏の形成や観光振興に必要な不可欠な路線です。残っているのは今治道路の10.3kmで、用地進捗率約99%、事業進捗率約67%という状況です。

6月10日



「事前復興」に関する勉強会

本会議一般質問終了後、『事前復興』に関する勉強会に参加しました。講師に愛媛大学防災情報研修センター矢田部龍一特命教授、山本浩司特定教授をお迎えして「愛媛県における南海トラフ巨大地震に対する事前復興への取り組みの必要性」についての講演を伺いました。

6月28日



「山本順三」総決起大会と小泉進次郎元環境大臣

7月2日



第40回商工会議所青年部愛媛県大会今治大会

本宮勇・令和4年度の役職

議会運営委員長

自民党

議会対策委員長

県議会果樹農業振興議員連盟理事

県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟副会長

県議会地域公共交通活性化促進議員連盟会長

日中友好促進愛媛県議会議員連盟理事

県議会防衛議員連盟会長

今年度、県議会の「議会運営委員長」を拝命いたしました。「議会運営委員会」は、その名前の通り、議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。定例会の日程や本会議の進行手順などを話し合い、議会に関するルールを定めます。議会全体に関係することを策定し、議会の中心的な役割を担っています。このように重要な委員会の長をつとめさせていただきます。

県議会には、その目的によって超党派で構成される議員連盟があります。私は、「地域公共交通活性化促進議員連盟」「防衛議員連盟」の2つで会長職を任されています。「地域公共交通活性化促進議員連盟」は、四国新幹線の実現を図るための議員連盟で、災害に備えた交通網の整備、地域の方々の足であるバス、フェリーの維持のための提言をしています。「防衛議員連盟」は、ロシアとウクライナの紛争に見られるように、日本と愛媛県の皆様の安全を守るためにどのような対策が必要かを考える組織です。中国の脅威が増すなかで、どのような防衛策・安全策がとれるかを考えます。

また、山地の多い愛媛県で国土保全に必要な施策を考える「森林・林業・林産業活性化促進議員連盟」では副会長。愛媛県の主要な生産品である柑橘類を含む果樹栽培と農業をさらに発展させる「果樹農業振興議員連盟」、日本と中国の発展に資する「日中友好促進愛媛県議会議員連盟」などでは理事をつとめています。

自民党県連では、「議会対策委員長」を任されました。県議会議員を長く務めてきた経験を、各党や派との交渉・調整に活かしてまいります。

県議会	議会運営委員長
議員連盟	県議会地域公共交通活性化促進議員連盟会長 県議会防衛議員連盟会長 県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟副会長 県議会果樹農業振興議員連盟理事 日中友好促進愛媛県議会議員連盟理事
自民党県連	議会対策委員長